

OnBase

a hybrid software solution

PRODUCTDATA

OnBase IBM Lotus Notes®統合

OnBase IBM Lotus Notes 統合とは

OnBase IBM Lotus Notes統合を使用すると、IBM Lotus Noteユーザーは、使い慣れたLotus Noteインターフェースを通してOnBase文書管理システムで電子メールのメッセージや添付ファイルの格納、文書表示、電子メールへの文書添付、ワークフローやエクスプローラ拡張機能にアクセスできます。

どう機能するか

Lotus Notes内でOnBase「EDMS検索」アイコンを選択すると、ユーザーは、Lotus Notesインターフェースを通してOnBaseレポジトリから即時に文書を検索できます。また、Lotus Notes SwitcherメニューにはOnBaseワークフローやエクスプローラ拡張機能が表示されます。ワークフローインターフェースには、ユーザー処理を待機する作業項目リストが含まれています。一方、エクスプローラ拡張機能では、OnBase文書をフォルダ構造で表示できる便利な表示方法を提供します。

電子メールまたは添付ファイル、あるいはその両方を事前に設定したOnBase Lotus NoteフォルダにドラッグしてOnBaseに容易にインポートできます。ユーザーは、注文書、請求書、履歴書、お客様との通信などのフォルダを設定できます。フォルダは、フォルダに入る文書を自動でインデックスしたり、ユーザーにOnBaseインポートダイアログボックスを表示してインデックスができるようにしたりします。さらに、OnBaseは宛先、差出人、件名、日付、添付ファイル数、添付ファイル名とメッセージIDなどのメタデータから自動的にインデックス情報を追加してアーカイブされた文書は即時に利用可能になり、OnBaseユーザーは文書の閲覧やOnBaseワークフローやE-フォームと連携するように設定できます。ユーザーは、受信した電子メールをローカルまたはLotus Noteデータベースに保存する代わりに、コピーを保存する際にOnBaseに電子メールを格納するようプロンプトされます。アーカイブされた文書のコピーは、Lotus Noteに保存するように設定することも可能です。アーカイブされた電子メールは、オリジナルのDXL形式、またはテキスト形式で格納できます。添付ファイルはDXLファイル内、またはOnBase内にオリジナルの形式でその構造のまま格納されます。

どのように機能するか

Lotus Notes内でOnBase「EDMS検索」アイコンを選択すると、ユーザーは、Lotus Notesインターフェースを通してOnBaseレポジトリから即時に文書を検索できます。また、Lotus Notes SwitcherメニューにはOnBaseワークフローやエクスプローラ拡張機能が表示されます。ワークフローインターフェースには、ユーザー処理を待機する作業項目リストが含まれています。一方、エクスプローラ拡張機能では、OnBase文書をフォルダ構造で表示できる便利な表示方法を提供します。

電子メールまたは添付ファイル、あるいはその両方を事前に設定したOnBase Lotus NoteフォルダにドラッグしてOnBaseに容易にインポートできます。ユーザーは、注文書、請求書、履歴書、お客様との通信などのフォルダを設定できます。フォルダは、フォルダに入る文書を自動でインデックスしたり、ユーザーにOnBaseインポートダイアログボックスを表示してインデックスができるようにしたりします。さらに、OnBaseは宛先、差出人、件名、日付、添付ファイル数、添付ファイル名とメッセージIDなどのメタデータから自動的にインデックス情報を追加してアーカイブされた文書は即時に利用可能になり、OnBaseユーザーは文書の閲覧やOnBaseワークフローやE-フォームと連携するように設定できます。ユーザーは、受信した電子メールをローカルまたはLotus Noteデータベースに保存する代わりに、コピーを保存する際にOnBaseに電子メールを格納するようプロンプトされます。アーカイブされた文書のコピーは、Lotus Noteに保存するように設定することも可能です。アーカイブされた電子メールは、オリジナルのDXL形式、またはテキスト形式で格納できます。添付ファイルはDXLファイル内、またはOnBase内にオリジナルの形式でその構造のまま格納されます。

だれが利用できるか

IBM Lotus Notesをメールシステムとして利用する組織は、OnBaseを使い慣れたLotus Notesインターフェースと連携して使用することができます。電子メールと添付ファイルは、素早くタイムリーにアーカイブできます。OnBaseに格納された電子メールや添付ファイルが他のOnBaseユーザーに対して即時に使用可能になるだけでなく、文書は作業やフォローアップのためにワークフローアクティビティに組み込まれます。

技術的特長

- ドラッグ・アンド・ドロップで文書のインポートを行うOnBaseフォルダの設定が可能
- 文書の種類を自動選択してキーワードインデックス
- 添付ファイルを埋め込むか、または2つの別の文書として電子メールを保存
- オリジナルのLotus Notes DXL形式またはテキスト形式で電子メールを格納
- 添付ファイルをオリジナルの形式で格納
- OnBaseワークフローインターフェースが利用可能
- OnBaseエクスプローラ拡張機能が利用可能
- OnBase文書管理システムに格納された文書へのアクセス

ビジネス利点

- 使い慣れたインターフェースの使用でトレーニング費用を削減
- 文書に慣れた担当者によるインデックス
- 電子メールと添付ファイルが組織全体で即時に使用可能
- ワークフロー開始やワークフローへ文書追加
- 過剰な電子メール送受信を削減
- 電子メールを業務プロセスの一部として管理
- 文書のインデックスをスピードアップ
- OnBaseシステム入力作業を加速化

システム要件

- IBM Lotus Notes R6またはそれ以上
- OnBaseクライアントライセンス
- ワークフローを使う場合、ワークフローライセンスが必要

HYLAND
SOFTWARE